

冬期間のハウスを活用したたまねぎ春どり作型

【1 成果の概要】

近年、需要が高まっている新たまねぎについて、秋まき極早生品種を用いて冬期間の無加温ハウスで栽培することにより、東北地域ではあまり出回っていない5月上中旬に収穫する作型を明らかにしましたので紹介します。

○秋まき極早生品種「スパート」を8月中下旬に播種し、10月上中旬に無加温ハウスに定植（無マルチ）すると、5月上中旬に収穫可能で、調製重300g程度、商品収量6t/10a程度が期待できます。

品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	栽植距離	摘要
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
スパート (秋まき極早生品種)					□			🏠		●			150cm×12cm 4条(22,222株)	無加温ハウス

🏠:ハウス ○:播種 ●:定植 —:生育期間 □:収穫期間 ■:出荷期間



図1 収穫1カ月前の生育状況



図2 収穫物の様子(300g程度)

【2 留意事項】

- (1) 10月下旬以降の定植では、収穫時のりん茎が小さく、欠株が発生しやすくなりますので定植が遅れないようにします。
- (2) 外部分球や抽だい等の障害球の発生が多くなりますので極端な早期定植はしないようにします。
- (3) 塩類濃度の高い圃場では、定植後に欠株が発生する恐れがありますので、栽培開始前まではハウスの屋根ビニールを外しておく等の対策が必要です。
- (4) 冬期間の病虫害防除は不要ですが、3月以降はネギアザミウマ等の発生に留意して、必要に応じて防除を行います。
- (5) 冬期間もハウスビニールを展張した状態となりますので、大雪の際には雪害対策を実施します。
- (6) 育苗・ハウス管理およびその他栽培概要や成果の詳細については、「令和2年度試験研究成果」を参照してください。

担当研究室 県北農業研究所 園芸研究室

〒028-6222 岩手県九戸郡軽米町山内 23-9-1

TEL. 0195-47-1074

FAX. 0195-49-3011